

平成30年度手話パフォーマンス甲子園実行委員会総会 結果概要

- 1 日時 平成31年1月29日（火）午後1時30分～午後2時30分
- 2 場所 鳥取県庁 特別会議室（議会棟3階）
- 3 出席者 野川副知事（挨拶のみ）
全日本ろうあ連盟 久松事務局長、日本財団 石井公益事業部長（代理出席）
鳥取県聴覚障害者協会 下垣理事長、鳥取県商工会議所連合会 大谷幹事長（代理出席）
全国手話通訳問題研究会鳥取支部 澤田支部長、山本教育長、藤井福祉保健部長、事務局

4 次第

- (1) 副知事あいさつ
- (2) 報告事項
第5回全国高校生手話パフォーマンス甲子園の開催結果について
- (3) 議題
議案第1号 第6回全国高校生手話パフォーマンス甲子園基本計画（案）について
議案第2号 第6回全国高校生手話パフォーマンス甲子園開催要項（案）について
議案第3号 平成30年度手話パフォーマンス甲子園実行委員会補正予算について
- (4) その他
今後の日程について（資料5）
委員の再任について

5 内容

(1) 報告事項

■第5回全国高校生手話パフォーマンス甲子園の開催結果について（資料1）

資料に基づき事務局から開催結果の概要と大会の成果について説明。

【主な御意見等】

- 第5回大会は台風接近もあったが無事開催でき、大会も盛況に終わり大変うれしい。（下垣委員）
- 3月2日に横浜市で開催するデフリンピックの啓発イベントに横浜南陵高校が参加する予定であり、この大会への参加により地元でさらに手話パフォーマンスが広がっている。（久松委員）
- これまで合同チームがどういう経緯で構成されたか参考までにお尋ねする（石井部長）
→この大会に出場した学校の話聞いた特別支援学校が合同チームでの出場を提案された事例などを伺っている（事務局）

(2) 議題

■議案第1号 第6回全国高校生手話パフォーマンス甲子園基本計画（案）（資料2）

■議案第2号 第6回全国高校生手話パフォーマンス甲子園開催要項（案）（資料3）について

資料に基づき事務局から説明。質疑応答の上、基本計画案及び開催要項案について承認された。

【主な御意見等】

- 全国の高校生の準備のためにも第7回大会以降は、開催日を決めて基本計画に具体的な期日を明記してほしい。（久松委員、下垣委員）
→開催日決定についてなお努力したい。関係機関との日程調整については御理解と御協力もお願いしたい。（事務局）
- 本大会出場チームが20チームから15チームになるのは大変だが、内容の濃い大会になると思う。（澤田委員、大谷幹事長）
- 合同チーム枠、初出場枠の選出方法についての確認（大谷幹事長、石井部長）
→地方ブロック枠、得点順枠と順番に決定していき、合同チーム枠等の対象がない場合は得点順枠に振り替えられる。（事務局）

- 議案第3号 平成30年度手話パフォーマンス甲子園実行委員会補正予算について（資料4）
資料に基づき事務局から説明し承認された。

(3) その他

- 今後の日程について（資料5）、委員の再任について
資料に基づき事務局から説明。意見等なし。

- その他

 - 【主な御意見等】

 - 裾野の拡大という観点から、難しいと思うが、全国の高校での大会への認知度が分かる方法があれば知りたい（石井部長）
→（認知度の把握は難しいが）全国を回っての参加依頼や全国の全ての高校にチラシを配布するなどして周知している。（事務局）
 - 大会を始めた当初の課題は全国にどう広げていくかであった。手話言語条例を制定した自治体への働きかけや朝日新聞厚生文化事業団に高校生手話スピーチコンテストと併せた情報発信を依頼等してきた積み重ねや、宮様の御出席や高校生のロコミにより少しずつ認知度が上がってきていると思う。初めて参加する高校にどうサポートしていくかが今後の課題。（久松委員）
 - 大会出場により聞こえないことへの理解が深まり聞こえる学校の生徒達にもいい影響になっていると思う。（下垣委員）

